



令和8年

2/4

水

13:30 ▶ 15:30

働きがいのある職場づくりのための
生産性向上普及推進セミナー

伴走支援モデル事業所 成果報告会

是非ご参加ください

- ✓ 県内介護事業所の経営者、現場リーダーの方が対象です
(原則ペアでご参加ください)
- ✓ 生産性向上取組のポイントの中でも特に介護テクノロジーの
導入・活用については詳しくご説明させていただきます！
- ✓ 伴走支援モデル事業所 2 事業所の取組内容を、それぞれの
事業所リーダーよりわかりやすく発表させていただきます！

場所

ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸
水戸市大工町1-2-1 (無料駐車場あり)

定員

100名

講師

鎌田大啓(かまたともひろ)
株式会社TRAPE 代表取締役

厚生労働省「生産性向上ガイドライン」の作成・改訂に深く
関わり、介護現場における生産性と働きがいの向上、介護
テクノロジーの導入などに取り組んできた。
厚生労働省主催のセミナー講師を務め、全国のワンストップ
窓口や介護事業所への伴走支援など豊富な実績を有する。
現在は厚生労働省の各種委員も務めている。



モデル事業所の伴走支援を
私たちが担当しました！

内容

- 介護テクノロジー機器展示(予定)
- 開会・挨拶
- 基調講演「生産性向上取組のポイント」

登壇：株式会社TRAPE 鎌田大啓

- 伴走支援モデル事業所による実践発表

登壇：介護老人保健施設 梨花苑、特別養護老人ホーム 玉寿荘(敬称略)

- 伴走支援モデル事業所インタビュー&質疑応答

お問い合わせ先

(公財)介護労働安定センター 茨城支部
Tel: 029-227-1215 Fax: 029-227-1216

参加無料

参加申し込みは
裏面から！

セミナー 申込書

Fax 029-227-1216 で本紙を送信

申込期限：2026年 1月 23日（金）

以下情報記載・アンケート回答のうえで申し込み下さい

法人名・事業所名		担当者名	
住 所	〒		
電話番号		Fax番号	

参加者氏名	役職等

申込時アンケート

1. 改善活動の取組はどこまで進めますか？
(択一)

☐ まだ実施していない

☐ STEP1（改善活動の準備）まで実施した

☐ STEP2（課題の見える化）まで実施した

☐ STEP3（実行計画の作成）まで実施した

☐ STEP4（改善活動の実行）まで実施した

☐ STEP5（活動の振り返り）まで実施した

☐ STEP6（計画の練り直し）まで実施した

☐ 既に2回目以降の取組に進んでいる
2. 生産性向上の委員会について
(ひとつ選ぶ)

☐ うまく運用できている

☐ うまく運用できていない（時間がない）

☐ うまく運用できていない（やり方が分からない）

☐ まだ作っていない

☐ その他（ ）
3. 課題の見える化について
(ひとつ選ぶ)

☐ 実施した（課題が整理できた）

☐ 実施した（課題が整理できていない）

☐ まだ実施していない（時間がない）

☐ まだ実施していない（やり方が分からない）

☐ その他（ ）

取組を始めている方は4以降もご回答ください

4. 実際に取り組んだ課題はなんですか？
(複数可)

☐ 職場の環境整備（例：5S）

☐ 業務の仕組み（例：役割分担、手順）

☐ 個別業務（例：入浴、見守り）

☐ 情報共有・記録

☐ テクノロジー導入・活用

☐ 介護助手導入・活用

☐ その他（ ）
5. 左記の具体的な内容を教えてください
(自由記述)
6. どのような成果ができましたか？
(複数可)

☐ 時間を削減できた

☐ 職員の働きがい向上した

☐ 利用者に向き合う余裕ができた

☐ 新たなケアの取り組みを始めることができた

☐ 職場の雰囲気が良くなった

☐ 人材が育ってきた

☐ 離職が減った

☐ 経営指標がよかった

本研修は 公益財団法人 介護労働安定センター 茨城支部が主催しております。
ご記入いただきました情報は、必要なセキュリティ管理のもと、本研修の目的の範囲内に限定して利用します。